



# 恵田小新聞

令和2年  
7月

第157号



「素晴らしき恵(多)小の日々」  
たんぼ組担任 岩瀬 富雄

あふれる緑の中、多種多様な生き物と触れ合うことのできる生活。地域の方々の温かいご支援によって実現した、ブドウ・キウイ等の栽培や梅ジュース・コンニャクづくりなどの、地域に根ざした豊かな学び。そして、学びの中で感じる子供たちと地域の方々との心のつながり。恵田小・恵多小。多くの恵みの中で子供たちが成長できる稀有な学校で教壇に立つ。その喜びを日々感じていきます。

ただ、ひとつだけ困ったことがあります。赴任して三か月余りが過ぎました。にもかかわらず、四十七名の全校児童の顔や名前が、まだよく分からないのです。子供たちがしているマスクのせいでしょうか？いいえ、私の努力不足でしょう。

早く全員の顔と名前を覚え、真に恵田小学校の一員となれるように一杯精進します。これからどうぞよろしくお願います。



エアタッチ挨拶運動



「愛にあふれる恵田小学校」  
二年生担任 片岡 佑奈

「明日も元気よく学校に来ましよう。さようなら。」三か月前、ここ恵田小学校で始まった教員生活。やつとこの言葉を毎日聞ける日々がやってきました。子ども達と共に学びながら、充実した毎日を過ごしている今、とても嬉しく思います。

恵田つ子と出会って衝撃だったこと、それは虫や鳥、植物などに詳しくすぎることで、毎日のように「クワガタがいた！」

「この虫の名前はね・・・。」と、報告しに来てくれます。普通だったら見逃してしまうような場所にいるものにもリーダーが反応し、すぐに発見しています。自然を愛し、自然に愛され、また地域の方々や周りの人々にもたくさん愛されている恵田つ子の姿を見て、心が温まります。子ども達の元気にも猿にも負けないよう、全力で恵田つ子の成長を支えていきたいと思えます。



サトイモ植え

「強くなれ」  
子ども会会長 中根 伸宏  
恵田小学校の児童の皆さん、休校で遅れた勉強を取り戻す為に、マスクをして、毎日頑張っていますね。皆さんは、三か月の間、家から出てはいけないという凄い経験をしましたね。長い人生には色々なことがあります、どんな事があっても負けない、強い人になって下さい。  
フレイフレイ恵田小！

## 水泳陸上部 決意の言葉

「たよれるキャプテン」

男子キャプテン 六年 市川 桜太

ぼくは、水泳陸上部のキャプテンとして、部員みんなを引っ張っていきたくと思っています。たくさんの方に気を配り、たよれるキャプテンになりたいです。六年生全員が下級生を引っ張っていきけるよう、まずは自分からがんばりたいです。

「目標」

女子キャプテン 六年 家永 奈々子

わたしが目指している水泳陸上部は、一人一人が目標をしっかり持ち、みんなが大きな声で応えんし合える水泳陸上部です。そのために、まずは、わたしが目標を決めてがんばったり、大きな声で応えんしたりして、みんなを引っ張っていきたくです。



がんばれ水泳陸上部